



新年のごあいさつ

社会福祉法人 本宮市社会福祉協議会

会長 芦間 則行

新年あけましておめでとございませう。

市民の皆様には、令和5年の新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より本宮市社会福祉協議会に対しまして、温かいご支援とご協力を賜っておりますことあらためて深く感謝申し上げます。

さて、現在、少子高齢化、核家族化等に加え、コロナ禍によって地域や家庭のつながりが希薄になっており、地域の皆さん同士が助け合う「地域福祉」の充実が、今まで以上に求められています。当会では、民生委員・児童委員や福祉員及び地域の関係者、福祉団体及びボランティア等のご協力をいただきながら、行政機関等と連携してさまざまな地域福祉事業を進めております。なお、昨年4月からは、障がい者相談支援事業所「なないろ」を開設し、障害のある方の思いや希望を大切に、ご家族の方々と一緒に考えながらサービス利用の支援を進めております。

また、当会では、令和5年度からの法人後見業務の開始も計画しており、日常生活自立支援事業と併せて、すべての市民の方々が住み慣れた地域において、本人らしい生活を継続することができるよう支援してまいります。

今後も、私ども役職員一同、心を新たに「共に支え合う仕組みがあり、みんなが助け合いながら安心して暮らしているまち」を目指して地域づくりを進めて参りますので、市民の皆様のさらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様方にとりましてご健勝で幸多き年でありますように心よりお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

本宮市身体障がい者福祉会だより

社会生活訓練

『バス遠足』会員視察研修報告

11月18日、日常生活動作訓練、自立更生を目的とし、視察研修を実施しました。

11月とは思えないほどの晴天に恵まれ、会員6名で喜多方市方面へ出掛けました。

喜多方蔵の里では蔵や旧家を見学し、「昔の家はこうだったね」「うちにも蔵があったんだ」など懐かしみながら見学しました。

パワースポットになっている新宮熊野神社では、大イチョウの大きさと黄色のじゅうたんの見事さに感動し、みなさん身も心もリフレッシュできた一日となりました。



写真撮影時のみマスクを外しました



見事な大イチョウ



10月26日に開催された、第70回福島県身体障がい者福祉大会(二本松市民会館)にて、本宮市身体障がい者福祉会から3名の方が表彰されました。

○自立更生者表彰受賞

安齋 盛男 様
(和田字大谷戸)

○更生援護功労者表彰受賞

国分キン子 様
(荒井字青田原)

○運営協力者感謝状受賞

川名 清一 様
(本宮字赤坂)